

**有害プランクトン情報** (令和2年度 - No. 2)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 5月 第1回 内湾(8地点) 5/12 内房(7地点) 5/12  
5月 第2回 内湾(8地点) 5/18 内房(7地点) 5/21  
貝類漁場内 九十九里 5/22 (生産技術研究室が担当) 千葉北部 5/11,21 木更津南部 5/14

**東京湾(内湾)****【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。  
○ 赤潮(透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150 %以上) が 5/18 に浦安沖～盤洲の地点でみられました。海水中からはギロディニウム属が多くみられ、最高密度は千葉沖の 82.9 細胞/mL でした。  
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。

**【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。  
○ 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス アキュミナータは 5/12 に船橋～羽田沖およびアクアライン南北の地点(最高密度は羽田沖の 0.75 細胞/mL) でみられました。また、5/18 には千葉～木更津沖およびアクアライン南北の内湾の地点(最高密度は千葉沖の 0.1 細胞/mL) でもみられました、また同種は 5/11,5/21 の千葉北部(密度はそれぞれ 0.25 細胞/mL, 0.1 細胞/mL) の貝類漁場内でもみられています。  
○ 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス ロツンダータも同様に 5/12 に船橋～羽田沖およびアクアライン南北の地点(最高密度はアクアライン北部の 2.65 細胞/mL) でみられました。また同種は 5/11,5/21 の千葉北部(密度はそれぞれ 0.7 細胞/mL, 0.15 細胞/mL) の貝類漁場内でもみられています。  
○ 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス インファンディブラも 5/12 に船橋～羽田沖およびアクアライン南北の地点(最高密度は羽田沖の 0.92 細胞/mL) でみられました。また 5/18 にも船橋～羽田沖およびアクアライン南北の地点(最高密度は羽田沖の 0.92 細胞/mL) および盤洲南部～富津地先(最高密度は羽田沖の 0.2 細胞/mL) でみられました。同種は 5/11 の千葉北部(0.5 細胞/mL) の貝類漁場内でもみられています。  
○ 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

**東京湾(内房)****【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。  
※ 赤潮(透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150 %以上) は確認されませんでした。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス アキュミナータは5/21に第2海保地先(0.05 細胞/mL)で見られました。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス ロツンダータは内房の勝山沖(0.05 細胞/mL)で見られました。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス インファンディブラも5/12に内房の大貫沖(0.05 細胞/mL)で見られました。
- 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## 九十九里海域

### 【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。  
※ 赤潮(透明度1.5 m以下, pH 8.5以上, 酸素飽和度150%以上)は確認されませんでした。

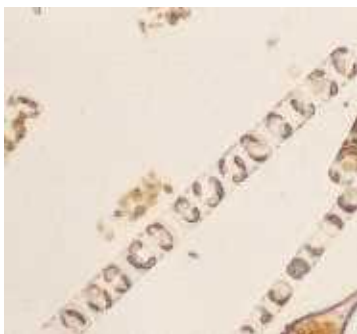
### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは5/22に九十九里沖の貝類漁場内でアレキサンドリウム属(旧アレキサンドリウム カテナラ)が22.90 細胞/mL見られました。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス アキュミナータはみられませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス ロツンダータはみられませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンのディノフィシス インファンディブラは5/22の九十九里沖の貝類漁場内(0.1 細胞/mL)で見られました。
- 5/12に内房の大貫沖(0.05 細胞/mL)で見られました。
- 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

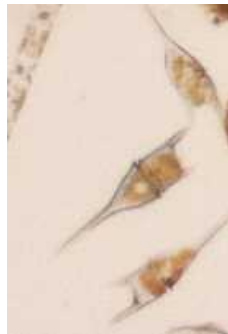
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

### ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

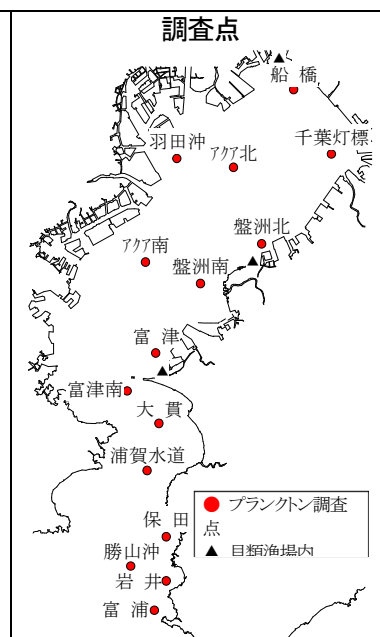
- 5/12 内湾・内房 珪藻 キートセロス属, スケルトネマ属,  
5/18,5/21 内湾・内房 珪藻 スケルトネマ属, キートセロス属, ケラチウム属



スケルトネマ属 (5/12 船橋)



ケラチウム属 (5/18 千葉灯標)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp